

## 2015年(平成27年)の貧酸素水塊(まとめ)

2015年の貧酸素水塊の分布及びその規模を図1～図3に示します。

貧酸素水塊の初確認は5月7日で、例年より少し遅い発生でした。5月中旬に通過した季節外れの台風による強風の影響で、広がり始めた貧酸素水塊の分布域は一度縮小しましたが、その後次第に拡大し、5月下旬以降は内湾北部を中心にDOが1mL/L以下の海域が広がりました。7月上旬に強い南西風が吹き、貧酸素水塊が南西方向へ移動したため、一時的に規模が小さくなりましたが、7月下旬以降は再び拡大し、8月上旬に最大規模(41%)となりました(図2)。ここ10数年間の年間最大規模との比較では、今年の最大規模は同程度でした(図3)。

8月上旬と、8月下旬～9月上旬にかけて、湾奥部で青潮が発生しました。また、8月下旬～9月上旬にかけては、北寄りの風が続いたことで例年に比べ気温が低く推移し、雨や曇りの多い不順な天候となりました。これらの影響で、貧酸素水塊の規模はこの時期に急速に小さくなりました(図2)。

9月下旬に再び湾奥部で発生した青潮と、10月上旬に通過した低気圧に伴う強い南風により、貧酸素水塊の分布域及び規模はさらに小さくなりました(図1、2)。その後貧酸素水塊は徐々に縮小し、例年並みの11月30日に解消が確認されました。

千葉県水質保全課によると、青潮は5回発生しました(5月30日、6月20～22日、8月10～13日、8月24日～9月1日、9月26日～30日)。なお、青潮による二枚貝類の被害はありませんでした。

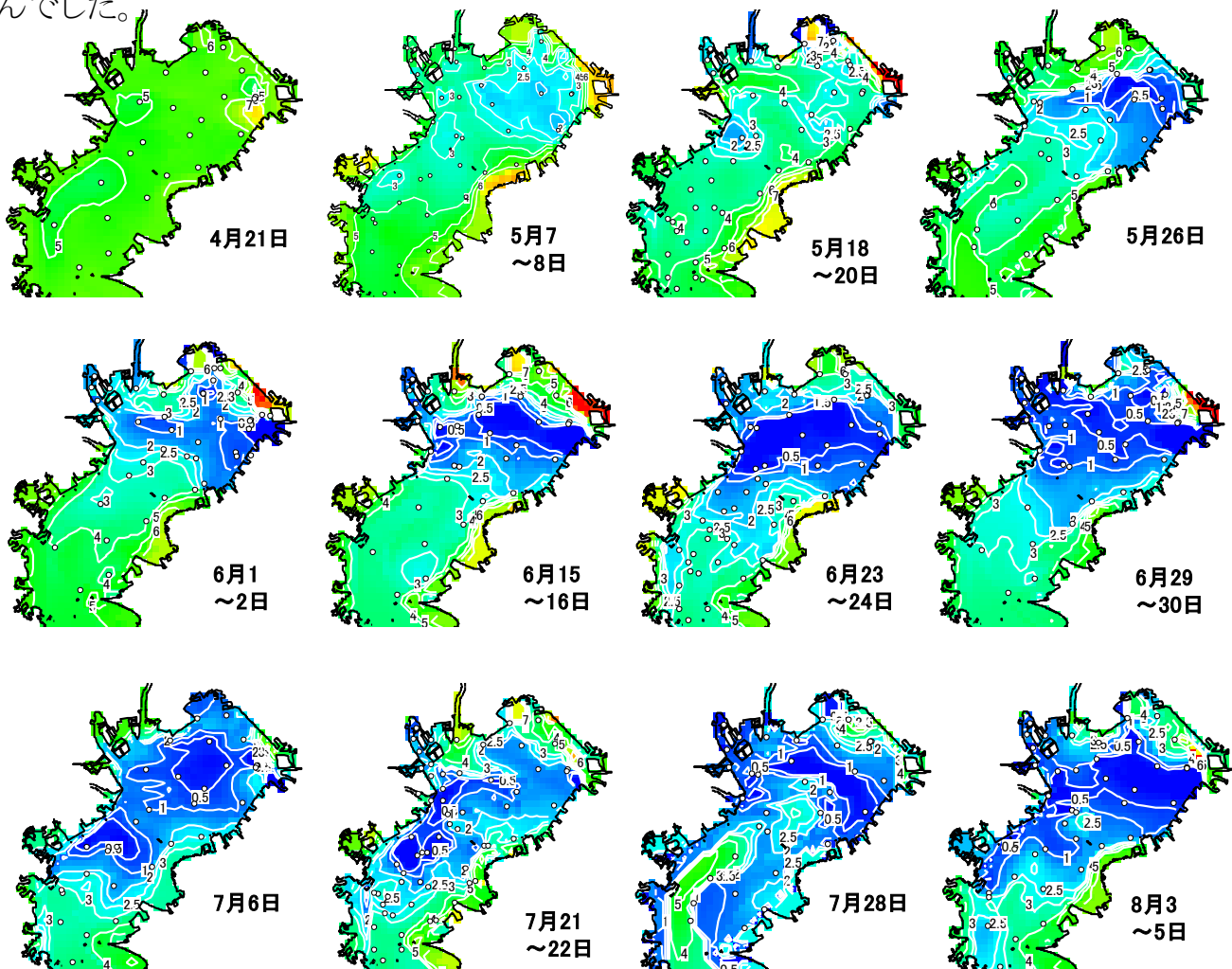


図1 底層の貧酸素水塊の分布

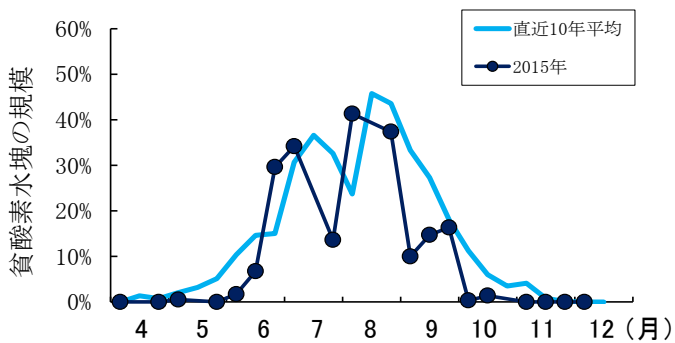
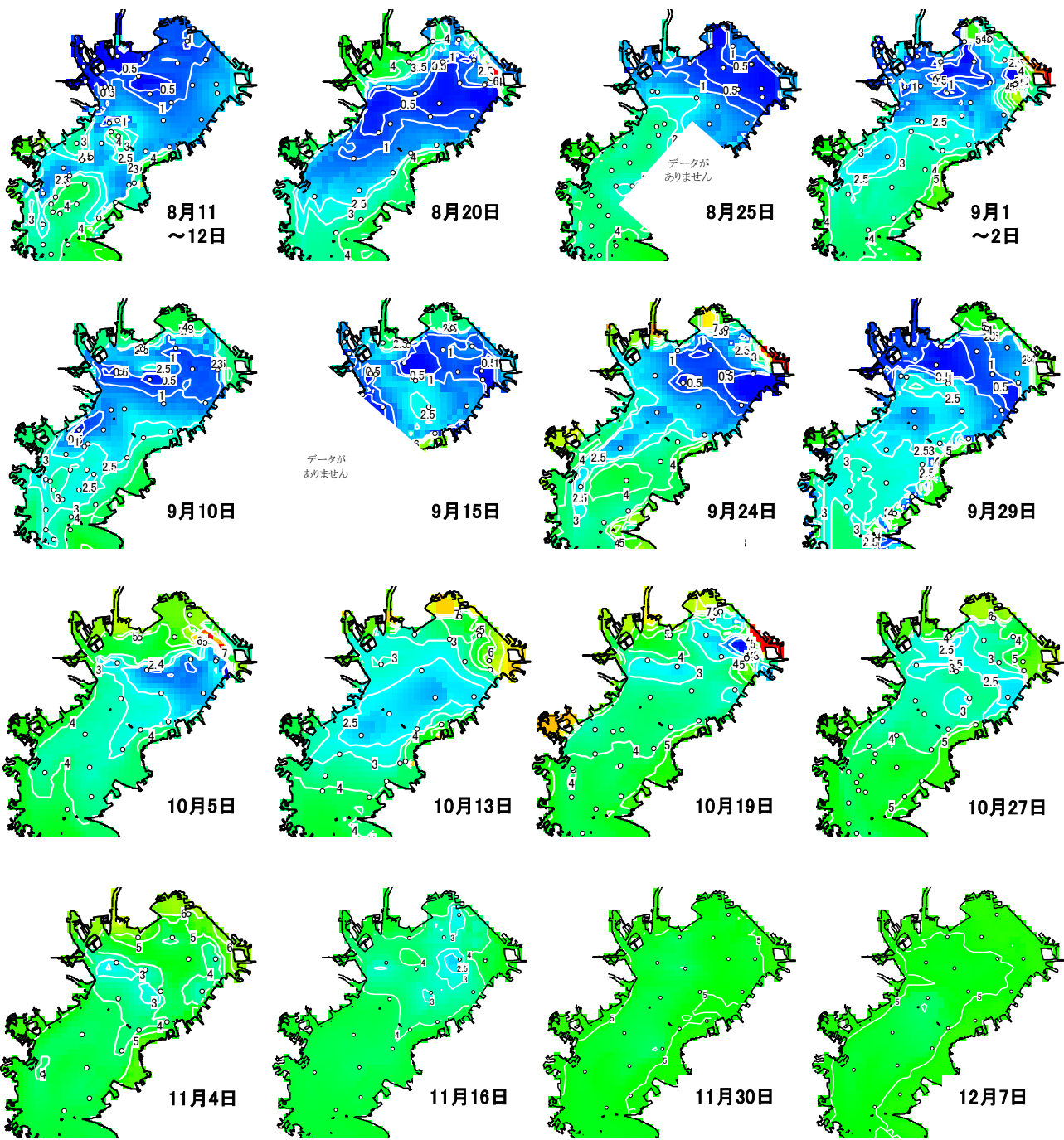


図2 貧酸素水塊の規模

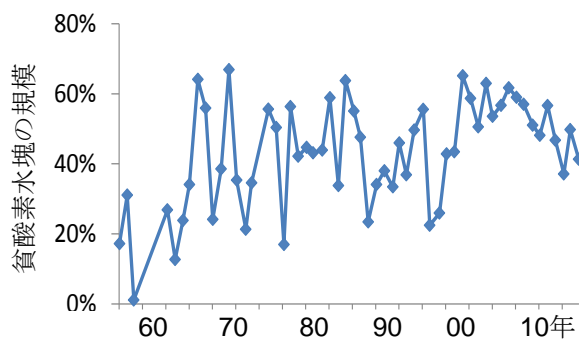


図3 年間最大規模の経年変化 (1955年~2015年)